

石 山

発行所 札幌市立石山中学校
発行者 網島 七恵
住所 南区石山2条8丁目7-1
電話 011-591-8853

学校教育目標 「豊かな人間性を培う」

- | | |
|------------|---------------------------|
| ・思いやりのある人間 | … 友愛を深め、責任を自覚して、共にたかめあう生徒 |
| ・進んで学ぶ人間 | … 知識を求め、正しく判断できる生徒 |
| ・心の豊かな人間 | … 豊かな情操を備え、創造の意欲に充ちた生徒 |
| ・独り立ちできる人間 | … 自立心に富み、自らの未来を切り拓く生徒 |

令和8年度 第80回 入学式「式辞」

近く無意根山にも木々が芽吹き、川瀬の流れが歓びの歌をささやきはじめ、本格的な春の訪れを感じる季節となりました。

本日は、ご多忙の中、御来賓としてPTA会長の細田 洋介 様をはじめ、地域の皆様のご臨席を賜り、また、保護者の皆様に見守っていただく中で、札幌市立石山中学校、第八十回入学式を挙行できますこと、心より感謝し、厚くお礼申し上げます。85名の新入生の皆さん、御入学誠にありがとうございます。在校生並びに教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

新入生の皆さんは、記念すべき第80回の入学生です。そして、来年の令和9年度には開校80周年を迎える歴史と伝統のある石山中学校の一員となります。この80年という長い歴史の中で、石山中学校は地域の皆様の温かいご支援のもと、数えきれないほどの先輩たちがここで学び、巣立っていきました。皆さんはその重みある歴史をしっかりと受け継ぎ、さらに新たな未来へと繋いでいく大切な役割を担っています。

本日、皆さんは、新しい制服に身を包み、希望とちょっぴりの不安や緊張が入り混じった新鮮な気持ちでいることでしょうか。どうか安心して、学習や部活動、さまざまな行事などに精一杯打ち込み、自ら希望の扉を開け、一步一步、前向きに進んでください。さて、本校を人間にたとえるならば、年齢は80歳。日本の平均寿命が延び続けている「長寿の時代」において、この石山中学校もまだまだこれから長く息づき発展を遂げるものと信じています。

私たちは、かつてない長寿の時代を生きる中で、「年を重ねてからの生き方」が問われています。人生をより豊かに、社会をより潤いのあるものにするために、最も大切なことは「常に学び続ける心構え」です。

江戸時代の儒学者の言葉に、

「少にして学ばば、即ち荘にして為すこと有り。

荘にして学ばば、即ち老いて衰えず。

老いて学ばば、即ち死して朽ちず。」という教えがあります。

若いときに学んでおけば、壮年期（35～65歳）に何事かをなし、老年期（65歳以上）にも学び続けたなら、その名が朽ちることはないという意味です。

ここでいう「学び」とは勉強のことだけをさしているわけではありません。委員会活動や部活動、先生や新しい友人、先輩との人間関係作りはもちろん中学校生活における様々な場面で「学び」があります。つまり、どんな人からもどんな物事からも貪欲に学ぶという心構えさえあれば、中学校三年間はもちろん、日常生活のすべてが自分自身の人間性を磨く場になります。

この「学び続ける姿勢」は皆さんが住んでいる石山地区に深く根付いています。地域には大人のための学びの場である「石山大学」があり、生涯にわたって学びを深めようとする素敵な人々で賑わっています。また、「石山ノーベル賞」として、地域貢献した人を称える思考文化があります。皆さんはこの地域の長く学ぶという姿勢を共に担い、「ふるさと石山」をさらに発展を遂げてくれる地域の宝物なのです。実り多い中学校生活を送る中で、どうか学びや文化を継承し、身に付けてほしいと願っています。

結びになりますが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。小学校六年間で身に付けた力を大切に引き継ぎ、さらに中学校三年間で確かなものにするために、私たち教職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。今後とも本校の教育活動への深い御理解と、温かい御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

新入生の皆さんの、中学校生活が希望の扉を開く実り多きものとなることを心から祈念し、式辞といたします。

令和8年4月9日 札幌市立石山中学校 校長 網島 七恵

「新入生代表の言葉」

僕たちは、先月、小学校を卒業してきました。新しい学校生活を前に不安もありますが、新たな仲間、先輩、先生方との出会いや、学ぶことへの期待を胸に、僕たちは強を迎えました。

中学校は、小学校とは違う生活があります。例えば部活動でも、仲間と協力して目標をもって、ねばり強く取り組み、先生方や先輩方に、たくさんのことを教えていただきながら成長したいと思います。

これから始まる日々の中で大切なことは、勉強や部活動はもちろん、「あいさつ」、「礼儀」、「努力」、「協力」なども忘れずに、中学校生活を送ることだと思います。

今日から小学校とは違う3年間が始まります。新しい教科も増え、たらしいことに挑戦しますが、未来へ向かって前進して、自分と仲間を信じて乗り越えていきます。

僕たちは、入学してきたばかりでわからないことがたくさんありますが、先生方、先輩方、これからよろしく申し上げます。

令和8年4月9日 新入生代表 成田 玖遠



着任した教職員



東	伴明	教 頭	真駒内曙中学校から
米田	朋弘	主幹教諭	西岡中学校から
信田	裕	教 諭	厚別南中学校から
菅原	七海	教 諭	新採用
川田	慎也	教 諭	教育大学附属旭川校から
世良	尚也	教 諭	北白石中学校から
石岡	ひとみ	校務助手	陵陽中学校から
諏訪	拓海	用務員	旭小学校から
堂野	博	用務員	新規任用
遠藤	睦子	相談支援パートナー	新規任用
庄司	ひさ子	相談支援パートナー	新規任用



よろしく願いいたします。

